ねんきんだより Pensions News

免除・猶予・学生納付特例の手続きをされたかたへ（追納のご案内）

国民年金保険料の全額免除や一部免除の承認を受けた期間については、保険料を全額納付したときに比べ、将来受ける年金額が少なくなります。また、納付猶予や学生納付特例の承認を受けたままで追納しなかった場合、その期間については、年金を受けるための資格期間に算入されますが、老齢基礎年金額には反映されません。そこで、これらの期間は10年以内であれば、後から保険料を納めること（追納）ができます。ただし、承認を受けた期間の翌年度から起算して３年目以降に追納する場合は、当時の保険料に経過した年数に応じた加算額が上乗せされます。

詳しくは、年金事務所へご相談ください。

問合せ 太田年金事務所 ☎49－3716

ハウスクリーニングのトラブルにご注意

【事例】

電話で５千円の換気扇のクリーニングの勧誘があり、依頼した。翌日、換気扇を掃除してもらった際、「換気扇フードを風呂場で洗わせてほしい」と言われたので業者を風呂場に案内したら、「カビ臭い」と言われ、風呂場と洗面所、トイレのクリーニングも勧められ、契約してしまった。２日間の作業だったが、内容もよくわからず、約60万円と高額なので、換気扇以外の契約を解約したい。（60歳代）

【ひとこと助言】

契約内容や料金について十分な検討ができないまま契約してしまった結果、トラブルにつながってしまっているケースが少なくありません。

事業者によってサービス内容や料金は異なるため、必ず複数社から見積もりを取り、事業者の選定は慎重に行いましょう。料金や説明に納得できない場合は、きっぱりと契約を断りましょう。作業当日に追加の契約を勧誘されてもその場で決めないようにしましょう。作業時はなるべく家族のかたなどに同席してもらいましょう。

一定の要件に該当する場合には、クーリング・オフなどが適用できる場合があります。困ったときは消費生活センターなどにご相談ください。（消費者ホットライン１８８）

相談は消費生活センターまで ☎８２－７８３０（ナヤミナシ）

休日当番医

期日	内科系		外科系	耳鼻科
6月7日(日)	かさはら内科医院 ５５－２５３７	おおかわらクリニック （旧：小林内科医院） ８８－８２７８	しんじょう整形外科クリニック ５５－３６２３	川田耳鼻咽喉科医院 ７２－３３１４
6月14日(日)	森下内科医院 ７３－７７７６	藤原医院 ８８－７７９７	慶友整形外科病院 ４９－９０００	－
6月21日(日)	加藤医院 ８９－１０３１	こやなぎ小児科※ ８０－２２２０	川島脳神経外科医院 ７５－５５１１	なるしま耳鼻咽喉科クリニック ７６－７６４０
6月28日(日)	福田ペインクリニック ８４－１２３３	つつじのさと内科医院 ５０－１６５３	岡田整形外科クリニック ７２－３１６３	－
7月5日(日)	はまだクリニック ８０－１１００	阿部医院 ６２－５４２８	新橋病院 ７５－３０１１	川村耳鼻咽喉科医院 ７２－１３３７
7月12日(日)	たなか医院 ６２－２８８１	小西医院 ８６－２２６１	館林市夜間急病診療所 ７３－２３１３	－
7月19日(日)	さくま内科胃腸科クリニック ５５－２５００	つつじのさと内科医院 ５０－１６５３	小曽根整形外科 ７２－７７０７	なるしま耳鼻咽喉科クリニック ７６－７６４０

歯科	
館林邑楽歯科保健医療センター ７３－８８１８ 午前９時～正午	◆緊急　公立館林厚生病院（内科系・外科系）☎７２－３１４０ ◆夜間　館林市夜間急病診療所（内科・小児科）午後７時～10時（日・祝、年末年始除く） ☎７３－２３１３（要受診前電話連絡）

●診療時間は、午前９時～午後５時（ただし、耳鼻科の診療時間は、午前９時～午後１時）　●内科系の※は、小児科のみとなります。

Face フェイス

若い人たちに農業へ興味を持ってもらえるように

お米とニガウリ、養豚を複合経営

関口健太さん

せきぐち　けんた
除川出身

趣味はスポーツ観戦。大リーグやこれから始まるサッカーワールドカップが楽しみだそうです。

レポーター
広報編集委員
北村美穂（きたむらみほ）

ご両親を手伝うため

今年で農業を始めて５年目になるという関口さん。もともとは介護職として、特別養護老人ホームで働いていました。介護の仕事は大変ながらも、とても充実した日々を過ごしていたそうです。しかし、実家でご両親とともに農業を行っていたおじいさまが高齢で農作業ができなくなりました。関口さんはご両親を手伝うため、農業を始めました。

こだわりは堆肥

現在、関口さんはお米とニガウリを生産しています。こだわりを伺うと「堆肥を使って、なるべく化学肥料を使わないようにしている。そのほうがおいしくなる」と言います。

関口さんは、お米とニガウリの生産だけでなく、養豚場も経営しています。そこで出た有機物を使い、堆肥にしています。「物価高で機械や農薬など多くのものが高騰するなか、いかにコストを掛けないかを考え、堆肥を使うことでコストカットにもつながっている」と複合経営のメリットを語ってくれました。また、作った堆肥は町内でキュウリやナスを生産している農家さんにも使ってもらっているとのことです。

さらなる活躍を期待

今後の目標について伺うと「農業をやる若い人がいなくなっているので、興味を持ち、自分もやりたいと思ってくれる人が増えるように頑張っていきたい」と熱く語ってくれました。

ちなみに、ニガウリのおすすめの食べ方は、「チャンプルー、中華サラダがおいしいです。苦みが苦手という人にはかき揚げが食べやすいですよ」と話してくれました。

「おいしかったよ」の声にやりがいを感じるという関口さん、さらに活躍されることを期待しています。